

『土木と社会』セミナー

第一回 (10月18日) @ 西講義棟2階工学部第1講義室

「視覚障害者誘導ブロックを使ってみる」



「点字ブロック」と呼ばれている黄色い線。目が見えない方々のためにこの線はどんな役に立っているのでしょうか？ アイマスクをつけた状態で杖を頼りにこの線に沿って歩く体験をしてみましょう。

第七回 (12月6日) @ 西講義棟2階工学部第1講義室

「国の研究所ってどんなところ？」



ゲスト：
中川 康之さん / 九州大学大学院工学研究院
海域港湾環境防災共同研究部門

もう20年以上前になりますが、大学院の修士課程（土木工学専攻）を卒業し、国家公務員（現在の総合職）として当時の運輸省に入省すると、神奈川横須賀市にある港湾や空港の施設整備に関する研究所に配属されました。入省前の面接試験では確かに「研究所でもどこでも行きます！」と威勢よく答えていたものの、果たして研究所ではどんな仕事をしていくことになるのか？ 大きな不安と期待を胸に、土木分野での研究者生活がスタートしてみると…これまでの研究所での経験を中心に話したいと思っています。

第二回 (10月22日) @ 西講義棟2階工学部第1講義室

「学術と実務の架け橋
- 環境・エネルギーの研究と小水力発電の社会実装」



ゲスト：
キーリアレクサンダー 竜太さん /
糸島小水力発電株式会社 代表取締役
九州大学工学研究院馬奈木研究室特任助教

私は環境・エネルギーセクターにおけるファイナンス面の分析や政策評価等に取り組んでいます。糸島小水力発電株式会社を2016年に立ち上げ、糸島で小水力発電所の建設にも取り組んでいます。また、コンサルタントとしてワールドバンク東京防災ハブでの活動もしています。何故現在このような働き方を選んでいるのか、そして実際にこのような形で仕事をしていて感じた事について話し、皆さんがキャリアを考えるための材料を提供できる機会になればと思います。

第八回 (12月13日) @ 西講義棟2階工学部第1講義室

「やりたい仕事を見つけ、
それを実践するために取り組んできたこと」

ゲスト1：
伊東 和彦さん / 株式会社東京建設コンサルタント
九州支社総合河川部 主任技師



私は九大土木の大学院生になってから景観の勉強を始めて、卒業後は土木のデザイン事務所→九大のテクニカルスタッフ→建設コンサルタントと渡り歩いてきました。その中で一貫しているのは、景観に関わる仕事をしていることです。今のところ、大学で学んだことを直接的に継続して活かしていることで、幸せな働き方ができているなと思っています。そんな私は、学部2年生の時に『将来、何がやりたい』や『何を専門にしたい』といったことを漠然と考え始めました。それを考え始めたきっかけは何だったのか。また、各職場での仕事の内容や職場を替える時に考えたこと、現在・将来について想うことなどをお話したいと思います。

ゲスト2：
粟生 啓之さん / 株式会社建設技術研究所 大阪本社
道路・交通部 交通システム班 主幹



世間一般ではあまり知られていない「建設コンサルタント」は、土木をはじめとして様々な社会インフラを裏方として支える職業です。九州大学の景観研究室を卒業し、12年の間で都市計画・まちづくり、道路計画、道路管理・交通システムと、多様な分野に携わってきた私がやってきたこと、見てきたことを通して、建設コンサルタントと社会の関わり、その面白さについて、皆さんにお伝えしたいと思っています。業務とは関係ありませんが、建設コンサルタントは色々なところを訪れることができる職業です。私は、美味しいものが温泉があるところを選んで仕事をするようにしています。仕事外の面白さも合わせてお伝えできればと思います。

第四回 (11月8日) @ 西講義棟2階工学部第1講義室

「都市計画と地域づくりの現場から」



ゲスト：
宮崎 大さん / 株式会社ルーツ・アンド・パートナーズ
まちづくりプランナー・ディレクター

2011年に佐世保市役所に入庁後、以後8年間都市計画行政に従事。また、並行して地域住民との協働による活性化プロジェクトを実施してきました。現在は市役所を離れ、民間の立場で地域づくりに取り組んでいます。佐世保市を舞台に、都市全体を俯瞰して考える都市計画と、住民との対話を通じた現場の地域づくりのあいだで、どのようなことを考え動いてきたか、お話ししたいと思います。

第五回 (11月15日) @ 西講義棟2階工学部第1講義室

「宮崎県の自然と文化を活かす河川海岸管理者の世界」



ゲスト：
来島 利明さん / 宮崎県県土整備部河川課主幹

宮崎県は豊かな自然と文化は地域の財産です。その保全も土木行政の仕事の重要なパートになっています。県の河川課の仕事は、建設や防災のハードな仕事だけでなく、海岸事業の合意形成など地域づくりの地道な取り組みも多く行っています。地域の良さを満喫しつつ、県民の方々と対話しながら責任ある仕事を担う県土木技術者ライフをお伝えします。

第九回 (1月10日) @ 西講義棟2階工学部第1講義室

「土木と国際協力」



ゲスト：
稲村 次郎さん / 九州大学国際交流推進室

国際協力と聞くと、青年海外協力隊の派遣や、食料、教育や保健といった「生きる」ために不可欠な支援をしているというイメージを持たれる方が多いのではないのでしょうか？ たしかに、教育や保健への支援も大きいのですが、道路、橋梁、港湾、鉄道といった社会基盤（インフラ）への支援が金額として最大になっています。また、東南アジアでは、日本では少なくなった大型の工事も国際協力を通じて数多く実施しています。今回の授業では、土木技術を活用したどのような協力が行われているかを紹介し、皆さんに国際協力を身近に感じてほしいと考えています。

第六回 (11月29日) @ 西講義棟2階工学部第1講義室

「コンサルタントと川づくり」



ゲスト：
竹内えり子さん / 株式会社建設技術研究所
中部支社環境室

私は近自然の川づくりを仕事にしたいと思い、建設コンサルタントに就職しました。近自然という言葉はあまり聞き慣れないかと思いますが、多自然と同じ意味です。整備の際に、いかに自然に近づけることができるかを考えていきます。これまでに会った大先輩の技術者の方々から、石や木など自然素材を使った川づくりの考え方や技術、河川環境の捉え方、仕事に対する姿勢について学び、仕事をしてきました。川を通じた出会いやコンサルタントの仕事を紹介しながら、最近考えていることなどをお話したいと思います。

第十回 (1月12日) @ 西講義棟2階工学部第1講義室

「海外留学の魅力」



ゲスト：
河野 稜平君
古堅 翔大君
出口 翔大君

私たちは3年後期から1年間、アメリカ（ジョージア大、北アリゾナ大）、オーストラリア（シドニー大）にそれぞれ留学しました。現地では土木を主に学び、現地の学生と一緒にプロジェクトなども経験しました。セミナーでは、留学先で学んだことや、行ってから気づいたことなど、留学しようと考えている後輩の皆さんにとって参考になるような話をしたと思います。

このセミナーは地球環境工学科建設都市工学コース2、3年生を対象としていますが、どなたでも入場・聴講することができます。

問い合わせ先：
建設都市工学コース事務局 (W2号館3階 内線3366)